

福岡女子大学国際文理学部履修規程

平成23年3月24日制定

令和8年3月23日改正（最終）

(趣旨)

第1条 この規程は、福岡女子大学学則又はこれに基づく別段の定めによるもののほか、国際文理学部の教育課程及び履修方法について必要な事項を定めるものである。

(授業科目)

第2条 授業科目は、学則第6条及びその別表第1から第18に定められているとおりとする。

(卒業に必要な単位)

第3条 学則第11条に定める卒業に必要な科目及び単位は、次のとおり修得しなければならない。

授業科目区分		国際教養 学科	環境理学科	生活情報科 学科	食・健康 学科		
学部 共通 科目	ファーストイヤー・ゼミ	1	1	1	1		
	情報・データ活用科目	4	4	4	4		
	学術・キャリア言語プログラム	10	10	10	10		
	外国語科目	4	-	-	-		
	語学研修科目	-	-	-	-		
	リーダーシップ開発・体験学習 科目	6	6	6	6		
	人文・社会科学科目	4	8	7	8		
	自然科学科目	2	3	4	2		
	健康スポーツ科目	-	-	-	-		
	芸術・感性科目	-	-	-	-		
	文理統合科目	-	17	-	18	-	17
	国際文理学講究	-	-	-	-	-	
留学認定科目	-	-	-	-	-		
学科 科目	学科基本科目	10	12	16	8		
	専門科目	42	39	35	44		
	卒業研究	8	8	8	8		
自由に選択できる科目		22	26	26	26		
卒業に必要な単位数		124	124	124	124		

(学部共通科目の履修)

- 第4条 ファーストイヤー・ゼミについては、「ファーストイヤー・ゼミⅠ及びⅡ」の計1単位を修得しなければならない。
- 2 情報・データ活用科目については、「情報・データ活用基礎Ⅰ及びⅡ」「AI・データサイエンス概論Ⅰ」の3単位を含む計4単位を修得しなければならない。
- 3 学術・キャリア言語プログラムについては、次の各号に掲げる事項を満たさなければならない。
- (1) 日本語を母語とする学生は、学術・キャリア英語プログラム(ACE)に属する科目10単位を修得しなければならない。
 - (2) 日本語を母語としない学生は、学術・キャリア日本語プログラム(ACJ)に属する科目10単位を修得しなければならない。ただし、その一部または全てに代えて、学術・キャリア英語プログラム(ACE)を履修することができる。
 - (3) 日本語を母語としない学生は、「日本語総合ⅢA・B」及び「日本語総合ⅣA・B」又は「英語コミュニケーションⅢA・B」及び「英語リーディング・ライティングⅣA・B」を履修し、単位を修得しなければならない。
 - (4) 第1号から第3号の学生の区分に関わらず、母語以外の言語を履修すること。
- 4 外国語科目については、国際教養学科においては「中国語」、「韓国語」、「ドイツ語」、「フランス語」又は「英語」のいずれかのⅠA・B～ⅣA・Bを含んで4単位以上修得しなければならない。ただし、日本語を母語とする学生は、「英語ⅠA・B～ⅣA・B」を履修しても卒業要件単位には含めない。また、母語以外の言語を履修すること。
- 5 リーダーシップ開発・体験学習科目については、合わせて6単位以上を修得しなければならない。
- 6 人文・社会科学科目、自然科学科目、健康スポーツ科目、芸術・感性科目、文理統合科目、国際文理学講究に属する科目のうちから国際教養学科及び食・健康学科においては合計17単位以上、環境理学科及び生活情報科学科においては合計18単位以上を修得しなければならない。ただし、国際教養学科においては人文・社会科学科目は4単位以上、自然科学科目は2単位以上を、環境理学科においては人文・社会科学科目は8単位以上、自然科学科目は「環境理学概論」を含み3単位以上を、生活情報科学科においては人文・社会科学科目は7単位以上、自然科学科目は「生活情報科学概論」を含み4単位以上を、食・健康学科においては人文・社会科学科目は8単位以上、自然科学科目は2単位以上を修得しなければならない。
- 7 学部共通科目については語学研修科目からも選択することができ、卒業の単位として認められる。
- 8 留学認定科目については、公立大学法人福岡女子大学留学規則第11条に定めるところによる。
- 9 学部共通科目の授業科目、単位数、履修年次及び履修方法は、別表第1に掲げるとおりとする。なお、別表第1の科目区分においてE群に属する授業科目は、英語により実施される授業科目であり、1単位以上を修得しなければならない。

(学科科目の履修)

- 第5条 学科基本科目については、国際教養学科においては10単位以上を、環境理学科においては

必修科目 4 単位及び選択科目 8 単位以上を含み 12 単位以上を、生活情報科学科においては必修科目 12 単位及び選択科目 4 単位以上を含み 16 単位以上を、食・健康学科においては 8 単位以上を修得しなければならない。

2 専門科目については、国際教養学科においては 42 単位以上を、環境理学科においては 39 単位以上を、生活情報科学科においては 35 単位以上を、食・健康学科においては 44 単位以上を修得しなければならない。

(1) 国際教養学科においては、「国際教養演習Ⅰ～Ⅷ」から 4 単位以上修得しなければならない。なお、当該 4 単位は「Ⅰ・Ⅱ」、「Ⅲ・Ⅳ」、「Ⅴ・Ⅵ」、「Ⅶ・Ⅷ」の組み合わせのうち 2 つの組み合わせで修得されなければならない。かつ、各組み合わせは同一の担当教員によるものでなければならない。また、別表第 2 の 2 に定める他学科の科目については、6 単位まで卒業に必要な専門科目の単位数に算入することができる。

(2) 環境理学科においては、学科基礎分野において、「有機化学」2 単位、「生命の分子的基盤」2 単位、「細胞の生物学」2 単位、「エネルギー学基礎」2 単位、「基礎化学実験」1 単位、「生命科学基礎実験」1 単位、選択 A 科目から 4 単位を含む 14 単位以上を修得しなければならない。また、2 年次後期に化学探究コース、生物探究コースのいずれかを選択し、次の各号に掲げる履修コースが指定する科目を修得しなければならない。また、別表第 3 の 3 に定める他学科の科目については、2 単位まで卒業に必要な専門科目の単位数に算入することができる。

ア 化学探究コースは、「化学探究科目」に属する科目から「環境化学論実習Ⅰ・Ⅱ」4 単位、選択 B 科目から 10 単位以上、選択 C 科目から 3 単位以上を含む。

イ 生物探究コースは、「生物探究科目」に属する科目から「環境生命論実習Ⅰ・Ⅱ」4 単位、「動物生理学実験」1 単位、「生態学実験」1 単位、「植物生理学実験」1 単位、選択 D 科目から 8 単位、選択 E 科目から 6 単位を含む。

(3) 生活情報科学科においては、数理情報科学領域から 6 単位、政策科学領域から 4 単位、生活科学領域から 4 単位、総合領域から「生活情報科学論および実習Ⅰ、ⅡA・B」計 4 単位、選択科目から 2 単位を含む 6 単位、合計 20 単位以上を修得しなければならない。また、別表第 4 の 3 に定める他学科の科目については、4 単位まで卒業に必要な専門科目の単位数に算入することができる。

3 卒業研究については、8 単位を修得しなければならない。

4 各学科（環境理学科においては各履修コース）において履修すべき学科科目の授業科目、単位数、必修・選択の別、履修年次及び履修方法は、別表第 2（国際教養学科）、別表第 3（環境理学科）、別表第 4（生活情報科学科）及び別表第 5（食・健康学科）に定めるとおりとする。

（自由に選択できる科目の履修）

第 6 条 卒業に必要な単位のうち、国際教養学科においては 22 単位、環境理学科及び生活情報科学科、並びに食・健康学科においては 26 単位については、学部共通科目、他学科を含む学科科目（国際教養学科及び環境理学科、並びに生活情報科学科においては、食・健康学科が指定する科目を除く）から自由に選択して履修することができる。また、履修した科目は、第 7 条に記載した副専攻の認定に必要な科目とすることができる。

- 2 前項に規定する食・健康学科が指定する科目は、第9条に規定する科目とする。
- 3 福岡女子大学教職課程履修規程に定める科目のうち、同規程別表第1及び2の「教育実践に関する科目」及び別表第2の「栄養に係る教育に関する科目」及び別表第3、4、5、6、7の「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」は、卒業に必要な単位のうち自由に選択できる科目として認められる。

（副専攻）

第7条 学生が他学科の授業科目等を副専攻科目として、福岡女子大学副専攻の認定に関する規則にもとづき履修した場合、その学修成果を「副専攻」として認定する。

（教育職員免許状）

第8条 教育職員免許状の取得に必要な科目とその履修方法に関する規程は、別にこれを定める。

（栄養士免許状及び管理栄養士国家試験受験資格）

第9条 栄養士免許状及び管理栄養士国家試験受験資格の取得に必要な科目とその履修方法に関する規程は、別にこれを定める。

（食品衛生監視員及び食品衛生管理者の任用資格）

第10条 食品衛生監視員及び食品衛生管理者の任用資格の取得に必要な科目とその履修方法に関する規程は、別にこれを定める。

（履修手続）

- 第11条 授業科目を履修するためには、定められた期日までに履修登録を行わなければならない。登録のない科目については受講しても単位の認定は行わない。
- 2 履修登録は、学期ごとに別に定める期間内に教務システムより行う。
 - 3 同一時限に開講されている科目については、2科目以上の重複履修は認められない。
 - 4 履修登録した科目の履修登録の取消は、履修変更期間に行う。ただし、学外研修をとまなう科目については、教授会が認めた場合には期間を過ぎても履修登録の変更ができる。

（履修制限）

- 第12条 1年次から4年次までの各年次において、履修制限を設ける。
- 2 履修できる単位数は、各年次45単位までとする。
 - 3 学則別表第16に規定する「教職に関する専門科目」の修得単位は前項に定める履修制限単位に含めない。
 - 4 教授会が認めた場合には前2項に掲げる履修制限単位を超えて履修することができる。

（定期試験）

第13条 授業科目を履修した者については、学則第15条に基づいて、各学期末、各クォーター末

又は各学年末に期間を定めて定期試験（筆記、口述、論文等）を行い、学修の成果を評価する。ただし、学期、クォーター又は学年の途中で完結する授業科目については、臨時にこれを行うことがある。

- 2 定期試験において不正行為が行われた場合、学長は、学生懲戒規程（法人規程第70号）に基づき処分を行うものとする。
- 3 前項の処分を受けた学生については、当該科目だけでなくそのクォーターの全履修科目の登録を取り消すものとする。

（追試験）

第14条 病気その他正当な理由により定期試験を受けることができなかった者は、追試験を受けることができる。

- 2 追試験を希望する者は、定期試験を受講できなかった理由を証明する書類（例えば、病気の場合は医師の診断書等）を添えて、当該科目試験終了の日から5日以内で学期又はクォーターごとに別に定める期限内に「追試験願」を教務企画センターに提出するものとする。
- 3 追試験は、学部長が正当な理由と認めたものに限り、学期又はクォーターごとに別に定める追試験実施期間において行う。

（再試験）

第15条 定期試験に不合格となった者は、当該科目の担当教員の承認を得て、再試験を受けることができる。

（成績の評価と単位修得の認定）

第16条 学業成績の評価は、原則として定期試験の成績及び平素の成績によって行う。

- 2 学業成績は100点満点で採点し、60点以上を合格とする。合格者には単位が与えられる。
- 3 前項の学業成績は90点以上を「S」、80点以上90点未満を「A」、70点以上80点未満を「B」、60点以上70点未満を「C」、60点未満を「D」の5段階の評語をもって表す。
- 4 再試験による学業成績は、当該成績の8割が60点以上のものを合格とし、合格の場合の成績は一律「C」とする。
- 5 その学期の実授業時間の3分の2以上出席していない科目については、成績の評価は行わず、単位修得を認めない。
- 6 実験実習科目の単位は、関連する講義等の単位を修得していないと与えられない。
- 7 特に指定された場合を除いて、同一科目を二度履修しても単位は与えられない。
- 8 授業科目の成績評価に関し、当該授業科目を履修した学生は、疑義を申し出ることができる。疑義を申し出の際、学生は所定の期日までに成績疑義照会願を提出する。

（他大学等で修得した単位等の認定）

第17条 学則第13条で定める他の大学等で修得した単位等の認定は、学部教授会の議を経て学部長が行う。

(成績評定平均値)

第18条 各授業科目の成績評価に対応して評点(グレードポイント。以下「GP」という。)を付与し、1単位当たりの成績評定平均値(グレードポイントアベレージ。以下「GPA」という。)を算出する。

2 GPAに関する取扱いについては別に定める。

(卒業研究演習及び卒業論文の履修要件)

第19条 卒業研究演習及び卒業論文を履修するためには、3年以上在学し、次に定める単位を修得しておかなければならない。

(1) 学部共通科目については、次の各号のとおりとする。

ア 国際教養学科においては「ファーストイヤー・ゼミⅠ及びⅡ」計1単位、学術・キャリア言語プログラムと外国語科目を合わせて10単位を含む30単位以上。

イ 環境理学科においては「ファーストイヤー・ゼミⅠ及びⅡ」計1単位、情報・データ活用科目4単位、学術・キャリア言語プログラム10単位、リーダーシップ開発・体験学習科目計4単位、人文・社会科学科目及び自然科学科目、健康スポーツ科目、芸術・感性科目、文理統合科目、国際文理学講究計16単位を含む35単位以上。

ウ 生活情報科学科においては「ファーストイヤー・ゼミⅠ及びⅡ」計1単位、情報・データ活用科目4単位、学術・キャリア言語プログラム10単位、リーダーシップ開発・体験学習科目計4単位、人文・社会科学科目及び自然科学科目、健康スポーツ科目、芸術・感性科目、文理統合科目、国際文理学講究計16単位を含む35単位以上。

エ 食・健康学科においては「ファーストイヤー・ゼミⅠ及びⅡ」計1単位、情報・データ活用科目3単位、学術・キャリア言語プログラム10単位、リーダーシップ開発・体験学習科目計4単位、人文・社会科学科目及び自然科学科目、健康スポーツ科目、芸術・感性科目、文理統合科目、国際文理学講究計16単位を含む34単位以上。

(2) 学科科目については、次の各号のとおりとする。

ア 国際教養学科においては30単位以上。ただし、「国際教養演習Ⅰ～Ⅷ」から2単位以上修得すること。なお、当該2単位は「Ⅰ・Ⅱ」、「Ⅲ・Ⅳ」、「Ⅴ・Ⅵ」、「Ⅶ・Ⅷ」のいずれかの組み合わせで修得されなければならない。かつ、同一の担当教員によるものでなければならない。

イ 環境理学科においては、学科基本科目の必修科目4単位及び選択科目8単位を含み12単位以上、学科基礎分野の必修科目10単位及び選択科目Aより4単位を含み14単位以上、専門科目32単位以上。ただし、化学探求コースにおいては選択科目Bより6単位以上、選択科目Cより2単位以上、「環境化学論実習Ⅰ・Ⅱ」4単位、生物探求コースにおいては選択科目Dより4単位以上、選択科目Eより4単位以上、「動物生理学実験」1単位、「生態学実験」1単位、「植物生理学実験」1単位、「環境生命論実習Ⅰ・Ⅱ」4単位を含むこと。

ウ 生活情報科学科においては、学科基本科目14単位、専門科目30単位以上。

エ 食・健康学科においては、学科基本科目8単位、「食・健康科学基礎演習A・B」、「食・健康科学総合演習A・B」計2単位及び専門科目34単位を含む36単位以上。

(3) 上記の第1号及び第2号を含めた総修得単位については、国際教養学科においては90単位以上、環境理学科及び生活情報科学科においては100単位以上、食・健康学科においては106単位以上。

- 2 卒業研究演習及び卒業論文履修資格の認定は、3年次終了時及びそれ以降の各学期の終了時まで、教授会の議を経て、学部長が行う。
- 3 第1項にかかわらず、海外留学等、教授会が正当と認める事由が存在する場合、学部長は履修を認めることができる。

(卒業研究演習及び卒業論文)

第20条 卒業研究演習及び卒業論文の履修は、原則として学生が所属する学科の専任教員のもとで行うものとする。さらに環境理学科においては、履修コースの専任教員のもとで行うものとする。

- 2 卒業研究の成果は、これをまとめて卒業論文として提出し、審査を受ける。
- 3 卒業論文の様式及び卒業論文提出の期限については各学科において別に定める。
- 4 卒業論文については、学科ごとに別に定める方法により審査を実施し、教員で構成された各学科の卒業論文判定会議において合否を決定する。
- 5 卒業研究演習及び卒業論文が不合格と判定された場合は、次学期に審査を受けることができる。
- 6 病気その他の事由（病気の場合は、診断書等を提出のこと）で卒業論文の提出が期限に遅れた者については、教授会が正当と認めた場合に限って、当該学期内に審査を受けることができる。

(卒業の認定と期日)

第21条 卒業の認定は、4年次終了時及びそれ以降の各学期の終了時まで、教授会の議を経て学部長が行う。

- 2 卒業の期日は、卒業式の日付とする。ただし、第20条第6項に定める卒業論文審査に合格した者の場合は、年度末の卒業の場合は3月31日付、前期末の卒業の場合は9月30日付とする。

附 則

この規程は、平成23年度入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 1 月 25 日から施行し、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の国際文理学部履修規程の規定は、平成 30 年 4 月 1 日以降に入学した学生について適用し、平成 30 年 3 月 31 日現在に在学する学生については、改正前の国際文理学部履修規程の規定は、なおその効力を有する。

ただし、改正後の第 12 条、第 14 条、第 15 条及び第 16 条の規定の適用については、この限りではない。

- 3 平成 30 年 4 月 1 日以降において、本学に編入学し、転学し、又は再入学した者に係る授業科目、単位数、卒業要件等に関しては、当該者の属する年次と同一年次に属する者の例による。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の国際文理学部履修規程の規定は、令和 4 年 4 月 1 日以降に入学した学生について適用し、令和 4 年 3 月 31 日現在に在学する学生については、改正前の国際文理学部履修規程の規定は、なおその効力を有する。
- 3 令和 4 年 4 月 1 日以降において、本学に編入学し、転学し、又は再入学した者に係る授業科目、単位数、卒業要件等に関しては、当該者の属する年次と同一年次に属する者の例による。

附 則

この規程は、令和 4 年 6 月 10 日から施行し、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 6 年 12 月 23 日から施行し、令和 7 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、令和 8 年 3 月 23 日から施行する。
- 2 改正後の国際文理学部履修規程の規定は、令和 9 年 4 月 1 日以降に入学した学生について適用し、令和 9 年 3 月 31 日現在に在学する学生については、改正前の国際文理学部履修規程の規定は、なおその効力を有する。
- 3 令和 9 年 4 月 1 日以降において、本学に編入学し、転学し、又は再入学した者に係る授業科目、単位数、卒業要件等に関しては、当該者の属する年次と同一年次に属する者の例による。

※履修学年欄の数字は、当該科目を履修することができる最低学年を示している。

別表第1 国際文理学部における学部共通科目とその履修方法

科目区分		授業科目名と単位数		履修学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)			
ファーストイヤー・ゼミ		ファーストイヤー・ゼミⅠ	0.5	1	必修	1単位			
		ファーストイヤー・ゼミⅡ	0.5	1	必修				
情報・データ活用科目		情報・データ活用基礎Ⅰ	1	1	必修	4単位以上			
		情報・データ活用基礎Ⅱ	1	1	必修				
		AI・データサイエンス概論Ⅰ	1	1	必修				
		AI・データサイエンス概論Ⅱ	1	1	選択				
		プログラミング入門	2	1	選択				
		ウェブプログラミング	1	2	選択				
		情報デザイン	2	2	選択				
E群		情報科学の歴史・現在・未来	1	2	選択				
学術・キャリア英語プログラム (ACE)	コア	英語コミュニケーションⅠA	0.5	1	必修※	10単位	10単位必修 ※日本語を母語とする学生は、学術・キャリア英語プログラムを履修すること。 ※日本語を母語としない学生は、学術・キャリア日本語プログラムを履修することができる。		
		英語コミュニケーションⅠB	0.5	1	必修※				
		英語コミュニケーションⅡA	0.5	1	必修※				
		英語コミュニケーションⅡB	0.5	1	必修※				
		英語コミュニケーションⅢA	0.5	2	必修※				
		英語コミュニケーションⅢB	0.5	2	必修※				
		英語リーディング・ライティングⅠA	0.5	1	必修※				
		英語リーディング・ライティングⅠB	0.5	1	必修※				
		英語リーディング・ライティングⅡA	0.5	1	必修※				
		英語リーディング・ライティングⅡB	0.5	1	必修※				
		英語リーディング・ライティングⅢA	0.5	1	必修※				
		英語リーディング・ライティングⅢB	0.5	1	必修※				
		英語リーディング・ライティングⅣA	0.5	2	必修※				
		英語リーディング・ライティングⅣB	0.5	2	必修※				
		英語プレゼンテーションA	0.5	1	必修※				
		英語プレゼンテーションB	0.5	1	必修※				
		英語セルフラーニングⅠA	0.5	1	必修※				
		英語セルフラーニングⅠB	0.5	1	必修※				
		英語セルフラーニングⅡA	0.5	1	必修※				
	英語セルフラーニングⅡB	0.5	1	必修※					
	アドバンス		上級英語Ⅰ	1	2	選択			
			上級英語Ⅱ	1	2	選択			
	学術・キャリア日本語プログラム (ACJ)			日本語総合ⅠA	0.5	1		必修※	10単位
				日本語総合ⅠB	0.5	1		必修※	
				日本語総合ⅡA	0.5	1		必修※	
				日本語総合ⅡB	0.5	1		必修※	
				日本語総合ⅢA	0.5	2		必修※	
日本語総合ⅢB				0.5	2	必修※			
日本語総合ⅣA				0.5	2	必修※			
日本語総合ⅣB				0.5	2	必修※			
日本語ライティングⅠA				0.5	1	必修※			
日本語ライティングⅠB				0.5	1	必修※			
日本語ライティングⅡA				0.5	1	必修※			
日本語ライティングⅡB				0.5	1	必修※			
日本語ライティングⅢA				0.5	1	必修※			
日本語ライティングⅢB				0.5	1	必修※			
日本語文法A				0.5	1	必修※			
日本語文法B				0.5	1	必修※			
日本語コミュニケーションⅠA				0.5	1	必修※			
日本語コミュニケーションⅠB				0.5	1	必修※			
日本語コミュニケーションⅡA				0.5	1	必修※			
日本語コミュニケーションⅡB				0.5	1	必修※			

外国語科目	中国語 I A	0.5	1	選択※	<p>国際教養学科は4単位以上</p> <p>ただし、上記の単位数にはいずれか1つの言語の I A・B～IV A・Bを必ず含んでいなければならない。</p> <p>※日本語を母語とする学生は、英語 I A・B～IV A・Bを履修しても卒業要件単位に含めない。</p> <p>※母語以外の言語を履修すること。</p>
	中国語 I B	0.5	1	選択※	
	中国語 II A	0.5	1	選択※	
	中国語 II B	0.5	1	選択※	
	中国語 III A	0.5	1	選択※	
	中国語 III B	0.5	1	選択※	
	中国語 IV A	0.5	1	選択※	
	中国語 IV B	0.5	1	選択※	
	中国語 V A	0.5	2	選択※	
	中国語 V B	0.5	2	選択※	
	中国語 VI A	0.5	2	選択※	
	中国語 VI B	0.5	2	選択※	
	韓国語 I A	0.5	1	選択※	
	韓国語 I B	0.5	1	選択※	
	韓国語 II A	0.5	1	選択※	
	韓国語 II B	0.5	1	選択※	
	韓国語 III A	0.5	1	選択※	
	韓国語 III B	0.5	1	選択※	
	韓国語 IV A	0.5	1	選択※	
	韓国語 IV B	0.5	1	選択※	
	韓国語 V A	0.5	2	選択※	
	韓国語 V B	0.5	2	選択※	
	韓国語 VI A	0.5	2	選択※	
	韓国語 VI B	0.5	2	選択※	
	ドイツ語 I A	0.5	1	選択※	
	ドイツ語 I B	0.5	1	選択※	
	ドイツ語 II A	0.5	1	選択※	
	ドイツ語 II B	0.5	1	選択※	
	ドイツ語 III A	0.5	1	選択※	
	ドイツ語 III B	0.5	1	選択※	
	ドイツ語 IV A	0.5	1	選択※	
	ドイツ語 IV B	0.5	1	選択※	
	ドイツ語 V A	0.5	2	選択※	
	ドイツ語 V B	0.5	2	選択※	
	ドイツ語 VI A	0.5	2	選択※	
	ドイツ語 VI B	0.5	2	選択※	
	フランス語 I A	0.5	1	選択※	
	フランス語 I B	0.5	1	選択※	
	フランス語 II A	0.5	1	選択※	
	フランス語 II B	0.5	1	選択※	
フランス語 III A	0.5	1	選択※		
フランス語 III B	0.5	1	選択※		
フランス語 IV A	0.5	1	選択※		
フランス語 IV B	0.5	1	選択※		
フランス語 V A	0.5	2	選択※		
フランス語 V B	0.5	2	選択※		
フランス語 VI A	0.5	2	選択※		
フランス語 VI B	0.5	2	選択※		
英語 I A	0.5	1	選択※		
英語 I B	0.5	1	選択※		
英語 II A	0.5	1	選択※		
英語 II B	0.5	1	選択※		
英語 III A	0.5	1	選択※		
英語 III B	0.5	1	選択※		
英語 IV A	0.5	1	選択※		
英語 IV B	0.5	1	選択※		

語学研修科目		海外語学研修Ⅰ	1	1	選択	
		海外語学研修Ⅱ	1	1	選択	
		海外語学研修Ⅲ	1	1	選択	
リーダーシップ開発・体験学習科目	リーダーシップ開発	福岡女子大学論	1	1	選択	6 単位以上
		福岡女子大学史	2	1	選択	
		ジェンダー	2	1	選択	
		ジェンダーと法	2	1	選択	
		包摂社会と人権	2	1	選択	
		リーダーシップ論	2	1	選択	
		キャリア形成論	2	1	選択	
		キャリアインターンシップ	2	2	選択	
		グローバルリーダー論	2	2	選択	
		グローバルリーダー実習	2	3	選択	
	グローバルリーダー演習Ⅰ	1	1	選択		
	グローバルリーダー演習Ⅱ	2	2	選択		
	グローバルリーダー演習Ⅲ	2	2	選択		
	体験学習	地域共創論	2	1	選択	
		体験学習Ⅰ	2	1	選択	
体験学習Ⅱ		2	1	選択		
体験学習Ⅲ		2	1	選択		
体験学習Ⅳ		2	1	選択		
E群	海外体験学習Ⅰ	2	1	選択		
	海外体験学習Ⅱ	2	1	選択		
	海外体験学習Ⅲ	2	1	選択		
人文・社会科学科目		人間の思索	2	1	選択	国際教養学科は4 単位以上 環境理学科は8 単位以上 生活情報科学科は7 単位以上 食・健康学科は8 単位以上
		言語コミュニケーション論	2	1	選択	
		宗教と文化	2	1	選択	
		多文化社会論	2	2	選択	
		比較文学	2	1	選択	
		国際関係史	2	1	選択	
		国際文化論	2	1	選択	
		日本国憲法	2	1	選択	
		現代東アジア地域論	2	1	選択	
		国際経済概論	2	2	選択	
	国際関係概論	2	1	選択		
	食料経済学概論	2	2	選択		
	E群	人文・社会科学講究Ⅰ	1	2	選択	
		人文・社会科学講究Ⅱ	1	2	選択	
国際環境政策概論Ⅰ		1	2	選択		
国際環境政策概論Ⅱ		1	2	選択		
自然科学科目		生態系の生物学	2	1	選択	国際教養学科は2 単位以上 環境理学科は「環境理学概論」を含み3 単位以上 生活情報科学科は「生活情報科学概論」を含み4 単位以上 食・健康学科は2 単位以上
		食品安全科学概論	2	1	選択	
		食健康論	2	1	選択	
		環境理学概論	1	1	必・選	
		生活情報科学概論	1	1	必・選	
	E群	グローバルフードスタディーズ概論	1	3	選択	
環境と生物		1	3	選択		
	環境と化学	1	3	選択		
健康スポーツ科目		健康スポーツ実習A	0.5	1	選択	
		健康スポーツ実習B	0.5	1	選択	
		健康と身体活動	1	1	選択	
芸術・感性科目		芸術コミュニケーションⅠ	2	1	選択	
		芸術コミュニケーションⅡ	2	1	選択	
		書道芸術	2	1	選択	
		書道実技	2	1	選択	

文理統合科目		文理統合科目Ⅰ	2	1	選択	
		文理統合科目Ⅱ	2	1	選択	
	E群	比較食文化論	2	1	選択	
		世界の食と文化	1	2	選択	
		グローバル社会における科学と文化的多様性Ⅰ	1	2	選択	
		グローバル社会における科学と文化的多様性Ⅱ	1	2	選択	
		グローバル社会における科学と文化的多様性Ⅲ	1	3	選択	
		グローバル社会における科学と文化的多様性Ⅳ	1	3	選択	
		グローバル社会における科学と文化的多様性Ⅴ	1	3	選択	
国際文理学講究		国際文理学講究ⅠA	1	1	選択	
		国際文理学講究ⅠB	1	1	選択	
		国際文理学講究ⅠC	1	1	選択	
		国際文理学講究ⅠD	1	1	選択	
		国際文理学講究ⅡA	2	1	選択	
		国際文理学講究ⅡB	2	1	選択	
		国際文理学講究ⅡC	2	1	選択	
		国際文理学講究ⅡD	2	1	選択	

○E群については1単位以上を修得すること

別表第2 国際教養学科の学科科目とその履修方法（その1）

科目区分	授業科目名と単位数	履修学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)	
学科基本科目	倫理学	2	1	選択	10 単位以上
	日本文学	2	1	選択	
	欧米文学	2	1	選択	
	日本語学	2	1	選択	
	英語学	2	1	選択	
	歴史学	2	1	選択	
	法学	2	1	選択	
	政治学	2	1	選択	
	経済学	2	1	選択	
	経営学	2	1	選択	
	社会学	2	1	選択	

別表第2 国際教養学科の学科科目とその履修方法（その2）

科目区分	授業科目名と単位数	履修学年	必修選択 の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)	
専門科目	哲学概論	2	2	選択	
	日本文化論	2	2	選択	
	中国文化概論	2	2	選択	
	韓国文化論	2	2	選択	
	アジアの現代文化	2	2	選択	
	ヨーロッパ文化概論	2	2	選択	
	欧米文化理論	2	3	選択	
	ドイツ言語文化文献講読	2	3	選択	
	フランス言語文化文献講読	2	3	選択	
	日本古典文化と文学	2	2	選択	
	日本近代文化と文学	2	3	選択	
	日本文学史	2	2	選択	
	中国古典文学	2	2	選択	
	近代日本文学講義	2	2	選択	
	現代日本文学講義	2	3	選択	
	古典文学実践研究	2	2	選択	
	日本言語文化文献講読	2	2	選択	
	漢文学講義	2	3	選択	
	日本古典文学講義Ⅰ	2	3	選択	
	日本古典文学講義Ⅱ	2	3	選択	
	英文学史	2	2	選択	
	アメリカ文学史	2	2	選択	
	英語圏の文化と文学Ⅰ	2	2	選択	
	英語圏の文化と文学Ⅱ	2	2	選択	
	英語圏の文化と文学Ⅲ	2	3	選択	
	英語圏の文化と文学Ⅳ	2	3	選択	
	英語文化文献講読	2	3	選択	
	国語表現（音声・文法・表記）	2	2	選択	
	日本語文法論	2	2	選択	
	日本語教育概論	2	1	選択	
	日本語教授法Ⅰ	2	2	選択	
	日本語教授法Ⅱ	2	2	選択	
	日本語教授法Ⅲ	2	3	選択	
	日本語音韻論	2	3	選択	
	日本語教育実習	2	3	選択	
	中国言語文化文献講読	2	3	選択	
	韓国言語文化文献講読	2	3	選択	
	韓国言語文化論演習	2	3	選択	
	英語文化概論	2	2	選択	
	英語音声学	2	2	選択	
	英語の歴史	2	2	選択	
	英語文法論	2	3	選択	
	英語コミュニケーション	2	3	選択	
英語学文献講読	2	3	選択		
英語文章表現演習	2	3	選択		

専門科目

日本外交文化史Ⅰ	2	2	選択
日本外交文化史Ⅱ	2	2	選択
日本文化史講義	2	3	選択
日本政治論	2	3	選択
東南アジアの歴史と社会	2	2	選択
東アジア近現代史	2	2	選択
欧米史概論	2	2	選択
ヨーロッパ政治史	2	2	選択
国際政治史	2	3	選択
比較政治学	2	3	選択
東南アジア政治論	2	2	選択
東アジア地域関係論	2	3	選択
国際関係論Ⅰ	2	2	選択
国際関係論Ⅱ	2	3	選択
国際機構論	2	2	選択
国際法Ⅰ	2	2	選択
国際法Ⅱ	2	3	選択
国際開発論	2	2	選択
国際協力・NGO論	2	3	選択
グローバル・フィールド学	2	3	選択
平和と安全保障	2	3	選択
国際関係特別講義	2	3	選択
社会科学外書講読Ⅰ	2	2	選択
社会科学外書講読Ⅱ	2	3	選択
ミクロ経済学Ⅰ	2	2	選択
ミクロ経済学Ⅱ	2	2	選択
マクロ経済学Ⅰ	2	2	選択
マクロ経済学Ⅱ	2	2	選択
財政学	2	3	選択
金融論	2	3	選択
経済政策	2	3	選択
日本経済	2	3	選択
中国経済論	2	3	選択
東アジア経済論	2	3	選択
国際経済学	2	2	選択
開発経済学	2	3	選択
マーケティング論	2	2	選択
会計学	2	2	選択
経営戦略	2	2	選択
経営管理論	2	2	選択
国際経営学	2	2	選択
財務分析	2	3	選択
組織行動論	2	3	選択
イノベーション・マネジメント	2	3	選択
日本・アジアの企業経営	2	3	選択
社会心理学	2	2	選択
メディア文化論	2	3	選択
アジアとジェンダー	2	2	選択

「国際教養演習Ⅰ～Ⅷ」の4単位を含む合計42単位以上修得すること。

専 門 科 目	中国社会論	2	2	選択	
	韓国社会論	2	2	選択	
	東アジアの法と社会	2	2	選択	
	東南アジアの経済と社会	2	2	選択	
	南アジアの政治と社会	2	2	選択	
	東南アジア地域経済論	2	3	選択	
	アメリカの政治と社会	2	2	選択	
	ヨーロッパの政治と社会	2	2	選択	
	アメリカ地域関係論	2	3	選択	
	国際社会学	2	2	選択	
	中東・アフリカの政治と社会	2	2	選択	
	国際社会とジェンダー	2	3	選択	
	イスラム社会論	2	3	選択	
	現代社会論	2	1	選択	
	社会調査法	2	2	選択	
	国際教養演習Ⅰ	1	3	選択	
	国際教養演習Ⅱ	1	3	選択	
	国際教養演習Ⅲ	1	3	選択	
	国際教養演習Ⅳ	1	3	選択	
	国際教養演習Ⅴ	1	3	選択	
国際教養演習Ⅵ	1	3	選択		
国際教養演習Ⅶ	1	3	選択		
国際教養演習Ⅷ	1	3	選択		
卒業研究	卒業研究演習	4	4	必修	8単位
	卒業論文	4	4	必修	

別表第2の2 国際教養学科の専門科目として認定可能な他学科の科目

生活情報科学科及び食・健康学科の授業科目名と単位数		履修学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)
統計学 I	2	1	選択	6 単位まで卒業に必要な専門科目の単位数に算入することができる。
公共政策概論	2	1	選択	
公共政策論	2	1	選択	
自然資源管理論	2	2	選択	
国際経済・資源管理論	2	3	選択	
エコロジー・コモンズ論	2	3	選択	
都市・交通計画論 I	2	3	選択	
生活経営学	2	2	選択	
被服学および被服デザイン	2	2	選択	
都市生活論	2	2	選択	
建築史	2	3	選択	
データサイエンス	2	2	選択	
社会数理システム	2	2	選択	
コンピュータサイエンス	2	2	選択	
食物危機管理論	2	3	選択	
フードビジネス論	2	3	選択	

別表第3 環境理学科の学科科目とその履修方法（その1）

科目区分	科目名	単位数			履修 学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)
		講義	演習	実験 実習			
学科 基本 科目	基礎数学	2			1	選択	必修科目4単位、および選択から 8単位以上を含み12単位以上
	基礎物理学	2			1	選択	
	基礎化学	2			1	必修	
	基礎生命科学	2			1	必修	
	統計学Ⅰ	2			1	選択	
	統計学Ⅱ	2			1	選択	
	プログラミング	2			1	選択	
	コンピュータサイエンス	2			1	選択	

別表第3 環境理学科の学科科目とその履修方法(その2)

科目区分	科目名	単位数			履修 学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)		
		講義	演習	実験 実習					
専門科目	学科基礎分野	有機化学	2			2	必修	必修科目10単位、 および選択Aより4 単位を含み14単位 以上を修得するこ と。	専門科目を合計 39単位以上修得す ること。
		生命の分子的基盤	2			2	必修		
		細胞の生物学	2			2	必修		
		エネルギー学基礎	2			2	必修		
		無機化学	2			2	選択A		
		物理化学	2			2	選択A		
		分子生物学	2			2	選択A		
		生態学Ⅰ	2			2	選択A		
		基礎化学実験			1	1	必修		
		生命科学基礎実験			1	2	必修		
		基礎物理学実験			1	2	選択		
		地球環境科学	2			2	選択		
		地球環境科学実験			1	2	選択		
		マルチメディア技術	2			2	選択		
	化学探究科目	環境分析化学	2			2	選択B	化学探究コースを選 択の場合は、選択B より10単位以上、 選択Cより3単位以 上、「環境化学論実 習Ⅰ・Ⅱ」4単位を 修得すること。	
		環境機器分析学	2			2	選択B		
		基礎分析化学	2			2	選択B		
		高分子化学	2			2	選択B		
		水環境学基礎	2			2	選択B		
		資源循環学	2			2	選択B		
		大気環境学	2			3	選択B		
		環境エネルギー学	2			3	選択B		
		水環境学	2			3	選択B		
		基礎分析化学実験			1	2	選択C		
		有機高分子化学実験			1	3	選択C		
		大気環境学実験			1	3	選択C		
		環境エネルギー学実験			1	3	選択C		
		水環境学実験			1	3	選択C		
	環境化学論実習Ⅰ	2			3	必・選			
	環境化学論実習Ⅱ	2			3	必・選			
	生物探究科目	遺伝学	2			2	選択D	生物探究コースを選 択の場合は、選択D より8単位以上、選 択Eより6単位以 上、「動物生理学実 験」1単位、「生態 学実験」1単位、 「植物生理学実験」 1単位、「環境生命 論実習Ⅰ・Ⅱ」4単 位を修得すること。	
		発生生物学	2			2	選択D		
		動物生理学	2			2	選択D		
植物生理学		2			2	選択D			
分子進化学		2			3	選択D			
生態学Ⅱ		2			3	選択D			
保全生物学		2			3	選択D			
動物生理学実験				1	2	必・選			
生態学実験				1	2	必・選			
植物生理学実験				1	2	必・選			
生命科学演習Ⅰ			2		2	選択E			
生命科学演習Ⅱ			2		3	選択E			
生命科学演習Ⅲ			2		3	選択E			
生命科学演習Ⅳ			2		3	選択E			
環境生命論実習Ⅰ		2			3	必・選			
環境生命論実習Ⅱ	2			3	必・選				
卒業研究	卒業研究演習		4		4	必修	8単位 卒業研究は各履修コースの履修要件を満 たした科目区分において行う。		
	卒業論文			4	4	必修			

○実験・実習の単位は、その関連講義の単位を修得した者のみに認める。

なお、関連する講義・実験・実習一覧を別表第3の2に示す。

別表第3の2 環境理学科の実験実習等と関連する講義等科目一覧

実験実習等科目名	対応する講義等科目名
基礎物理学実験	基礎物理学
基礎化学実験	基礎化学
生命科学基礎実験	基礎生命科学
地球環境科学実験	地球環境科学
基礎分析化学実験	基礎分析化学
有機高分子化学実験	高分子化学
大気環境学実験	大気環境学
環境エネルギー学実験	環境エネルギー学
水環境学実験	水環境学

各授業の開講の学年と時期は授業時間割をみること。

○実験・実習の単位は、対応する講義の単位を修得した者のみに認める。

別表第3の3 環境理学科の専門科目として認定可能な他学科の科目

国際教養学科の授業科目名と単位数		履修学年	必修選択 の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)
南アジアの政治と社会	2	2	選択	2単位まで卒業に必要な専門科目の単位数に算入することができる。
東南アジアの歴史と社会	2	2	選択	
国際法Ⅰ	2	2	選択	
国際法Ⅱ	2	3	選択	
東アジア地域関係論	2	3	選択	
東アジア経済論	2	3	選択	

別表第4 生活情報科学科の学科科目とその履修方法（その1）

科目区分	科目名	単位数			履修 学年	必修選択 の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)
		講義	演習	実験 実習			
学科 基本 科目	基礎数学	2			1	必修	必修科目を12単位、選択科目から4単 位以上を含み合計16単位以上
	基礎物理学	2			1	選択	
	基礎化学	2			1	選択	
	基礎生命科学	2			1	選択	
	統計学Ⅰ	2			1	必修	
	統計学Ⅱ	2			1	選択	
	プログラミング	2			1	必修	
	コンピュータサイエンス	2			1	必修	
	公共政策概論	2			1	必修	
	生活経営学	2			1	必修	
	経済学	2			1	選択	
	経営学	2			1	選択	

別表第4 生活情報科学科の学科科目とその履修方法（その2）

科目区分	科目名	単位数			履修 学年	必修選択 の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)
		講義	演習	実験 実習			
専門 科目	情報システム科学分野						6 単位以上
	情報ネットワーク I	2			2	選択	
	情報ネットワーク II	2			2	選択	
	マルチメディア技術	2			2	選択	
	情報システム設計開発演習		2		3	選択	
	情報シミュレーション分野						
	社会数理システム	2			2	選択	
	数理シミュレーション演習		2		2	選択	
	アルゴリズムとデータ構造	2			2	選択	
	数理・AI・データサイエンス分野						
	データベース概論および実習	2			2	選択	
	データサイエンス	2			2	選択	
	地理情報科学	2			2	選択	
	機械学習論および実習	2			2	選択	
	線形代数および多変量解析	2			3	選択	
	都市計画分野						4 単位以上
	都市・交通計画論 I	2			2	選択	
	都市・交通計画論 II	2			2	選択	
	都市生活論	2			2	選択	
	公共政策・資源管理分野						
	公共政策論	2			2	選択	
	自然資源管理論	2			2	選択	
	公共政策演習	2			2	選択	
	自然資源管理演習	2			2	選択	
	国際経済・資源管理論	2			3	選択	
	エコロジー・コモンズ論	2			3	選択	
	衣・食分野						4 単位以上
	被服学および被服デザイン	2			2	選択	
	食物学	2			2	選択	
	被服実習			1	2	選択	
	調理実習			1	2	選択	
	住分野						
	生活衛生学	2			2	選択	
住居設計学	2			2	選択		
建築一般構造	2			2	選択		
建築環境工学	2			2	選択		
人間工学	2			3	選択		
建築施工	2			3	選択		
建築設備学	2			3	選択		
建築材料学	2			2	選択		
建築法規	2			3	選択		
住居設計 I		2		3	選択		
住居設計 II		2		3	選択		
住居設計 III		2		3	選択		
構造力学	2			2	選択		
CAD演習		2		3	選択		
建築史	2			3	選択		
生活総合分野							
生活デザイン	2			2	選択		
生活影響評価演習		2		3	選択		
保育学	2			3	選択		

合計 35 単位以上修得すること。

専門科目	総合領域	公共政策・情報総合演習Ⅰ		1		3	選択	必修科目から4単位、選択科目から2単位を含み合計6単位以上
		公共政策・情報総合演習Ⅱ		1		3	選択	
		公共政策フィールド実習Ⅰ		1		3	選択	
		公共政策フィールド実習Ⅱ		1		3	選択	
		生活情報科学PBL-Ⅰ		1		3	選択	
		生活情報科学PBL-Ⅱ		1		3	選択	
		生活情報科学論および実習Ⅰ	2			3	必修	
		生活情報科学論および実習ⅡA	1			3	必修	
		生活情報科学論および実習ⅡB	1			3	必修	
		卒業研究	卒業研究演習		4		4	
卒業論文				4	4	必修		

○実験・実習の単位は、その関連講義の単位を修得した者のみに認める。

なお、関連する講義－実験・実習一覧を別表第4の2に示す。

別表第4の2 生活情報科学科の実験実習等と関連する講義等科目一覧

実験実習等科目名	対応する講義等科目名
被服実習	被服学および被服デザイン
調理実習	食物学
住居設計Ⅲ	住居設計Ⅰ

各授業の開講の学年と時期は授業時間割をみること。

○実験・実習の単位は、対応する講義の単位を修得した者のみに認める。

別表第4の3 生活情報科学科の専門科目として認定可能な他学科の科目

国際教養学科の授業科目名と単位数		履修学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)
法学	2	1	選択	4単位まで卒業に必要な専門科目の単位数に算入することができる。
政治学	2	1	選択	
社会学	2	1	選択	
マーケティング論	2	2	選択	
ヨーロッパ政治史	2	2	選択	
国際開発論	2	2	選択	
国際関係論 I	2	2	選択	
国際法 I	2	2	選択	
東南アジアの歴史と社会	2	2	選択	
社会心理学	2	2	選択	
国際政治史	2	3	選択	
国際関係論 II	2	3	選択	
国際法 II	2	3	選択	
東アジア地域関係論	2	3	選択	
組織行動論	2	3	選択	

別表第5 食・健康学科の学科科目とその履修方法（その1）

科目区分	授業科目名と単位数	単位数			履修学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)	
		講義	演習	実験 実習				
学科基本科目	調理学	2			1	選択	8 単位以上	
	調理学基礎実習			1	1	選択		
	生化学Ⅰ	2			1	選択		
	生化学Ⅱ	2			1	選択		
	基礎実験			1	1	選択		
	基礎化学	2			1	選択		
	基礎生命科学	2			1	選択		
	基礎数学	2			1	選択		
	統計学Ⅰ	2			1	選択		
	統計学Ⅱ	2			1	選択		
専門科目	グローバル社会の食と健康	保健医療福祉論	2			1	選択	「専門科目」については、演習科目2単位を含めて、合計44単位以上修得すること。
		実践疫学	2			2	選択	
		公衆衛生学	2			2	選択	
		公衆衛生学実習			1	3	選択	
		公衆栄養学Ⅰ	2			3	選択	
		公衆栄養学Ⅱ	2			3	選択	
		公衆栄養学実習			1	3	選択	
		公衆栄養学臨地実習			1	3	選択	
		地域ブランド論	2			3	選択	
		食物危機管理論	2			3	選択	
	人間の体と心の健康	生化学実験			1	1	選択	
		基礎栄養学実験			1	2	選択	
		人間構造機能学Ⅰ	2			1	選択	
		人間構造機能学Ⅱ	2			2	選択	
		人間構造機能学実験Ⅰ			1	2	選択	
		人間構造機能学実験Ⅱ			1	2	選択	
		病理学	2			2	選択	
		栄養生理学	2			2	選択	
		栄養生理学実験			1	2	選択	

○実験・実習の単位は、その関連講義の単位を修得した者のみに認める。

なお、関連する講義・実験・実習一覧を別表第5の2に示す。

別表第5 食・健康学科の学科科目とその履修方法（その2）

科目区分	授業科目名と単位数	単位数			履修学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)
		講義	演習	実験 実習			
専門科目	保健・医療・福祉・介護における食と健康	基礎栄養学	2			1	選択
	栄養教育論Ⅰ	2			2	2	選択
	栄養教育論Ⅱ	2			2	2	選択
	栄養教育論Ⅲ	2			2	2	選択
	栄養教育論実習			1	2	2	選択
	応用栄養学Ⅰ	2			2	2	選択
	応用栄養学Ⅱ	2			2	2	選択
	応用栄養学Ⅲ	2			2	2	選択
	応用栄養学実習			1	2	2	選択
	スポーツ栄養学	2			2	2	選択
	臨床栄養学Ⅰ	2			2	2	選択
	臨床栄養学Ⅱ	2			3	3	選択
	臨床栄養学Ⅲ	2			3	3	選択
	臨床栄養学Ⅳ	2			3	3	選択
	臨床栄養学実習Ⅰ			1	3	3	選択
	臨床栄養学実習Ⅱ			1	3	3	選択
臨地実習事前・事後指導		1		3	3	選択	
臨床栄養臨地実習			2	3	3	選択	

「専門科目」については、演習科目2単位を含めて、合計44単位以上修得すること。

○実験・実習の単位は、その関連講義の単位を修得した者のみに認める。

なお、関連する講義・実験・実習一覧を別表第5の2に示す。

別表第5 食・健康学科の学科科目とその履修方法（その3）

科目区分	授業科目名と単位数	単位数			履修学年	必修選択の別	履修方法 (卒業に必要な単位数)	
		講義	演習	実験 実習				
専門科目	食の安全・安心と機能	微生物学	2			1	選択	「専門科目」については、演習科目2単位を含めて、合計44単位以上修得すること。
		微生物学実験			1	2	選択	
		食品安全学	2			2	選択	
		食品安全学実験			1	2	選択	
		食品機能学	2			1	選択	
		食品機能学実験			1	2	選択	
		食品加工・貯蔵学	2			2	選択	
		食品分析化学	2			3	選択	
		食品分析化学実験			1	3	選択	
		給食経営管理論Ⅰ	2			2	選択	
		給食経営管理論Ⅱ	2			2	選択	
		給食経営管理実習Ⅰ			1	3	選択	
		給食経営管理実習Ⅱ			1	3	選択	
		給食の運営（校外実習）			1	3	選択	
		調理学応用実習			1	2	選択	
		調理科学	2			2	選択	
		調理科学実験			1	3	選択	
		実践食事計画	2			2	選択	
		フードビジネス論	2			3	選択	
演習科目	食・健康科学基礎演習A		0.5		3	必修	2単位	
	食・健康科学基礎演習B		0.5		3	必修		
	食・健康科学総合演習A		0.5		3	必修		
	食・健康科学総合演習B		0.5		3	必修		
卒業研究	卒業研究演習		4		4	必修	8単位	
	卒業論文			4	4	必修		

○実験・実習の単位は、その関連講義の単位を修得した者のみに認める。

なお、関連する講義・実験・実習一覧を別表第5の2に示す。

別表第5の2 食・健康学科の実験実習等と関連する講義科目一覧

実験実習等科目名	対応する講義科目名
調理学基礎実習	調理学
公衆栄養学実習	公衆栄養学Ⅰ、公衆栄養学Ⅱ、公衆衛生学
公衆栄養学臨地実習	公衆栄養学Ⅰ、公衆栄養学Ⅱ、応用栄養学Ⅱ、応用栄養学Ⅲ
公衆衛生学実習	公衆衛生学
生化学実験	生化学Ⅰ
基礎栄養学実験	基礎栄養学
人間構造機能学実験Ⅰ	人間構造機能学Ⅰ
人間構造機能学実験Ⅱ	生化学Ⅰ・Ⅱ、人間構造機能学Ⅱ
栄養生理学実験	栄養生理学
栄養教育論実習	栄養教育論Ⅰ、栄養教育論Ⅱ、栄養教育論Ⅲ
応用栄養学実習	応用栄養学Ⅰ、応用栄養学Ⅱ、応用栄養学Ⅲ
臨床栄養学実習Ⅰ	臨床栄養学Ⅰ、臨床栄養学Ⅱ
臨床栄養学実習Ⅱ	臨床栄養学Ⅲ、臨床栄養学Ⅳ
臨床栄養臨地実習	臨床栄養学Ⅰ、臨床栄養学Ⅱ、臨床栄養学Ⅲ、臨床栄養学Ⅳ
微生物学実験	微生物学
食品安全学実験	食品安全学
食品機能学実験	食品機能学
食品分析化学実験	食品分析化学
給食経営管理実習Ⅰ	給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ、応用栄養学Ⅰ
給食経営管理実習Ⅱ	給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ、応用栄養学Ⅰ
給食の運営(校外実習)	給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ
調理学応用実習	調理学
調理科学実験	調理科学

各授業の開講の学年と時期は授業時間割をみることに。

○実験・実習の単位は、その関連講義の単位を修得した者のみに認める。

○「公衆栄養学臨地実習」の単位は、対応する講義の単位並びに「公衆衛生学実習」及び「応用栄養学実習」の単位を修得した者のみに認める。

○「臨床栄養臨地実習」の単位は、対応する講義の単位並びに「臨床栄養学実習Ⅰ」及び「臨床栄養学実習Ⅱ」の単位を修得した者のみに認める。